

北海道情報大学広報誌

たなかまど

VOL

63

2015(H27)年7月1日発行

Johodai

北海道情報大学広報誌 ななかまど

2015 (H27) 7月1日

CONTENTS — もくじ

VOL. 63

01	表紙
02	目次 北海道情報大学紀要
03	学長に何でも聞いてちょう！ 第一回学生と学長の対談
04	平成26年度学位記授与式
05	平成27年度入学式
06	南京大学からの編入学。学生作品が交通安全キャラクター採用される
07	平成27年度 第1回保護者の会 役員会を実施
08	日経STOCKリーグに先端経営学科松本ゼミ入選 先端経営学科・公開セミナー「ミステリー×インターネット」開催
09	春の食生活改善運動「ワンコイン朝食」実施
10-11	UNIPA ネパール・スタディ・ツアー報告
12-13	新任教員の紹介 医療情報学部・准教授 酒井雅裕 情報メディア学部・准教授 甬喜本司
14-15	体育祭の報告 学生実行委員会、ななかまど隊
16-17	グラフィックページ
18	北海道情報大学 企業、病院説明会開催
19	先生って、こんな研究してるんだ！！ 経営情報学部 向原 強 教授
20-21	第2回 日中学生文化交流会を開催して
22-23	ゼミ紹介 先端経営学科 栗山ゼミ 情報メディア学科 藤原ゼミ 医療情報学科 酒井ゼミ システム情報学科 古川ゼミ
24	こんな？そんな？アンケート
25	部活紹介・ダーツサークル
26	この先生の裏の顔 情報メディア学部 斎藤一先生
27	北海道情報大学 ガーデニングプロジェクト「おはながかり」
28	学生FD
29	大学主要行事など〈3月2日～5月31日〉
30-31	決算報告
32	ななかまど編集隊 Vol.63

北海道情報大学 紀要 26-2

北海道情報大学紀要（英：Memoirs of Hokkaido Information University）は、北海道情報大学が定期的に発行する学術雑誌です。紀要発行の意義は、研究発表の場を確保することにあります。年2回紀要を発行しており、内容は、論文のほか、解説、研究ノート、報告などを掲載しています。本学の教員が研究者として日常取り組んでいる研究テーマをここに掲載いたします。また、内容をご覧になりたい方は、ウェブサイトでご覧いただけますので、右記のURLからご覧ください。



http://www.do-johodai.ac.jp/kiyou/kiyou_26_2.html

《 論 文 》

- 高校数学における数学的活動についての再考察 林 雄一郎
- コーパスを活用した英語慣用句の通時的研究—“before you can say Jack Robinson” を中心に— 伊藤 一正
- Communication Conundrums: Overcoming Intercultural Communication Problems How Differing Cultural Values Get In The Way of Our Ability to Understand Each Other Better Charles McLARTY

- The Japanese People and The English Language: A Highly Complex Relationship A Sociolinguistic-based Consideration of Issues Japanese People Face in Dealing with The English Language Charles McLARTY
- IE コンポーネントを利用した HTML によるゲーム起動用ランチャー『iec ランチャー』の開発 森川 悟

6月12日、富士学長と学生6人との座談会をカフェで開催しました。
和やかな雰囲気の中進行し、学生は普段なかなか話す機会のない学長や大学のことについて知ることができました。

今回参加した学生



情報メディア学科 4年
角谷 比咲



医療情報学科 2年
工藤 奈那



先端経営学科 1年
長谷 美里



情報メディア学科 4年
堀田 惇矢



情報メディア学科 3年
堀越 麻希



情報メディア学科 4年
林 美波



スポーツで気分転換

林「本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。では早速…まずは学生の皆さんから学長へ聞いてみたいことはありますか？」

堀越「普段は何をしているんですか？」

富士学長（以下学長）「週末の天気の良い日はゴルフにいたりしてるよ。体を動かすと気分転換になるからね。みんなは何かスポーツはしてる？」

工藤「スポーツはしてませんが、家から大学までの距離が長くて、その間歩いているので…」

学長「どれくらい歩くの？」

工藤「地下鉄まで徒歩1時間かかるかからないか、くらいですね。」

学長「それはたくましいね。それだけ歩けば十分だなあ。君は？」

堀田「バレーボールをやっています。中学校からやっていて、今もサークルのメンバーと一緒にやっています。」

学長「仲がいいんだね。いいことだ。」

卒業生とも繋がる Facebook

学長「最近感動したことはあるかな？」

長谷「高校の部活で、引退するときの最後の高体連は感動しました。」

学長「何の部活？」

長谷「弓道です。」

堀田「おおー、似合いそう。」

学長「工藤さんは？」

工藤「去年自分の誕生日を大学の友達に祝ってもらえて、それでちょっとウルツきましたね。」

学長「ああ、それはいいね。でも、よくみんなあなたの誕生日を知ってたね。」

堀田「最近はFacebookで誕生日が通知されたりしますからね。」

学長「あー、そうかそうか。Facebookあるもんなあ。みんなよく使ってるの？」

工藤「サークル活動で使ってますよ。」

角谷「ゼミ内での連絡にも使います。」

学長「私も登録はしたけどあまり使っていないくて、でも卒業生から時々『先生、元気ですか』ってメッセージが来たりしてね。そうやって繋がれるのはいいよね。」

学生の成長が教員の喜び

学長「大学の教員としての一番の喜びって何だと思う？」

工藤「うーん？なんだろう…。」

学長「それはね、学生の成長している姿を見ること。これが一番嬉しいんだよ。最近うちの学生が色々ところで頑張っ

て、賞をとったりしてるじゃない。そういうのを見てると『頑張ってるなあ』って嬉しくなるんだよね。」

学生に伝えたいこと

林「最後に、学生へのメッセージなどあればお聞きしたいのですが。」

学長「皆さんは感じているかわからないけれど、今の世の中を見ていると、日本人が大切にしてきたもの、『倫理』が失われつつあると感じるんだよね。利益を上げたいための偽装とか。でも、そういうのは人間としてはやっちゃいけないこと。うちの大学も教室に『学生として守るべき11カ条』が貼ってあると思うけど、あれを全て守れると、人間としてすばらしい人になれる。そういう人は社会に出て『北海道情報大学の学生ってやっぱり違うよね』って思われるわけだ。『楽をしたい』だとか『嘘をついてしまおう』という人間の弱い部分も、自分に厳しくすることでカバーできる。勉強だけではなく、そういうことを大学生活の中で学んでほしいと思うよ。その中で学生だけではなくて、教員や職員もそういったことを皆さんに伝えていけるようにしたいね。」

学位記授与式



学位記授与式 挙行

平成 27 年 3 月 19 日 (木) 10 時から 11 時 30 分、本学松尾記念館講堂において、平成 26 年度北海道情報大学学位記授与式を挙行了しました。

経営情報学部は第 23 回、情報メディア学部は第 11 回、通信教育部は第 18 回、大学院は第 18 回となる合同で行われた学位記授与式の模様は、会場に設置されたテレビカメラ 5 台により、保護者室の 211 教室や全国の各教育センターにも同時中継されました。

今年度も卒業生が多く、会場となった松尾記念館講堂には、150 名ほどの保護者席しか用意できず、保護者の方を全員収容することはできませんでした。



式は、厳粛なうちにも和やかな雰囲気の中行われ、特に賞状授与では、参加者全員が拍手をするなど、祝福ムードいっぱいに包まれていました。

式終了後には、卒業アルバムに掲載する卒業記念写真の撮影を行い、その後、学科等別の学位記授与、体育館での卒業祝賀会と続きました。

学位記を手にした卒業生・修了生たちは、大学との別れを惜しんでいました。(総務課)



●卒業生

経営情報学部	
先端経営学科	57 名
システム情報学科	68 名
医療情報学科	65 名
情報メディア学部	
情報メディア学科	137 名
経営情報学部 通信教育部	
経営学科・ 経営ネットワーク学科	26 名
情報学科・ システム情報学科	285 名

●修了生

経営情報学研究科	13 名
----------	------

式次第

- 一、修礼
- 一、開式の辞
- 一、卒業生・修了生答辞
- 一、賞状授与
- 一、祝辞・祝電披露
- 一、理事長祝辞
- 一、学長告辞
- 一、学位記授与
- 一、開式の辞
- 一、修礼



入学式

入学式 挙行

4月3日(金)午前10時から、本学松尾記念館講堂において、平成27年度北海道情報大学入学式を挙行了しました。

式の模様は、式場に設置されたテレビカメラにより、保護者室(211教室、212教室、213教室)と全国にある通信教育部の各教育センターにも生中継され、多くの保護者や教職員に見守られる中、約900名の新入生が、情報大学生としてスタートしました。

会場内の保護者席は、座席数の関係もあり多くは用意できませんでしたが、厳粛なうちにも和やかな雰囲気の中行われました。

式の中では、入学生代表として蒲生真由さん(情報メディア学科1年)が、南京大学編入学生代表として王维成さん(情報メディア学科3年)が、これからの学生生活の抱負について宣誓しました。

式終了後には、新入生と保護者に対して、建学の理念、本学の開学に至った経緯等について知っていただくためのビデオ上映、その後、学科・専攻ごとに分かれて場所を教室に移し、入学生・保護者・クラス担任の顔合わせを兼ねた学科別等ミーティングが行われました。

(総務課)



↑宣誓を学長に手渡す入学生代表蒲生真由さん

式次第

- 一、修礼
- 一、開式の辞
- 一、学長告辞
- 一、理事長祝辞
- 一、祝辞・祝電披露
- 一、教員紹介
- 一、入学生代表の言葉(宣誓)
- 一、南京大学編入学生代表の言葉
- 一、閉式の辞
- 一、修礼

南京大学から IT・日本語クラス 9 期生が本学に編入学

平成 19 年から、中国南京大学と本学との共同事業として始まった『IT・日本語クラス』編入学制度の 9 期生 7 名が、平成 27 年 4 月、晴れて本学の経営情報学部と情報メディア学部の 3 年次に編入学しました。

この共同事業は、南京大学外国語学院と本学との国際交流協定に基づき、まず南京大学外国語学院で 2 年間、IT と日本語の基礎を学修します。その後、編入学試験を受けて本学の学部 3 年次に編入学して 2 年間、専門科目を修めて本学を卒業し、学士の学位取得を目指すというものです。

彼らは、今年の 3 月 8 日に日本へ



来しました。中国を出国する際、家族や友人たちの中には、4 年前に発生した東日本大震災や福島原子力発電所事故の影響、また昨今の日中間の政治上の問題などを心配する声もありました

が、自分たちの夢を叶えるために本学への留学を決断しました。

この日本での留学生生活が彼らの人生にとって有意義なものになることを期待しています。



(国際交流・留学生支援事務室)



情報大生と卒業生が交通安全キャラクターで、北海道の交通安全に貢献！

北海道警察本部から依頼のあった「横断中の歩行者の交通事故防止」のキャラクター制作で、情報メディア学科の学生をはじめ、多くの応募の中から、本学の情報メディア学科の学生と、卒業生の作品 2 点が採用されました。

1 点は運転者に対する呼びかけで 4 年生の海老澤萌子さん（安田ゼミ）。1 点は高齢者の横断者に向けての呼びかけで卒業生の森田榛花さん（川上ゼミ）。それぞれのキャラクターを使ったポスターが全道に貼られます。

4 月 14 日（火）道警本部で記者会見と発表式が行われた。多くの記者団に囲まれ、しっかり対応する二人は、大変立派ですね！と北海道警察本部の

方にお褒めの言葉をいただいていた。本学のデザインを勉強する学生のレベルの高さをアピールすることが出来ました。

(情報メディア 川上正博)





本学 eDC タワーで保護者の会役員会を実施

今年度第 1 回目の保護者の会役員会を 5 月 29 日（金）に、本学 eDC タワー 2 階カフェレストランにおいて開催しました。

開会に当たり、富士隆学長から保護者の会に対するお礼を含めた挨拶と同日、日本経済新聞に掲載の「食と農」で西平教授が研究している人介入試験についての説明がありました。

その後、1 年生の保護者から新規役員 5 名を選任し、出席者の自己紹介が行われました。

次いで、大学からの現況・行事等の報告として、若松就職部長から平成 26 年度卒業生の就職率及び平成 27 年

度の就職指導スケジュールについて、川上学生部長から学生生活について、学生サポートセンター事務室橋本学生課長から平成 27 年度の学内行事についてそれぞれ説明がありました。

役員会終了後の懇親会においては、保護者の会役員の皆様と学生生活・就職活動状況などについて懇談が行われ、ご子弟にかかる期待と愛情のこもった話し合いに、瞬間に時間が過ぎ、会を終了しました。

役員の皆様には、ご多忙にもかかわらずご出席いただき、貴重なご意見をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。

（学生サポートセンター事務室）

日経 STOCK リーグに先端経営学科・松本ゼミ入選！

日本経済新聞社主催の株式学習コンテスト「第 15 回日経 STOCK リーグ」に経営情報学部・先端経営学科 3 年（当時、現 4 年）・松本ゼミのチームが、116 大学 631 チーム（大学部門）が参加する中で、見事、入選しました。メンバーは、中西壮登くん（リーダー）、淡谷真平くん、田中佑奈さんです。

テーマは、「貧困をビジネスが救う～ Win&Win の関係～」で、利益を上げつつ貧困にあえぐ人々が直面している課題や問題を解決していこうと考えるビジネスである、BOP ビジネスに取り組む企業に関して、財務分析も交えながら調査を行い、「貧困のない世界」の実現へ向けた意図を示しながら、株式ポートフォリオを構築するという内



容です。

平成 26 年 5 月末から平成 27 年 1 月上旬にかけてゼミ課題として取り組み、ゼミ時間外の時間も使いながら主

体的に活動し続けた結果、一次審査・二次審査を経て、入選レポートのうちの一点として選ばれる成果につながりました。（先端経営学科 松本紗矢子）

先端経営学科・公開セミナー「ミステリー × インターネット」開催

5 月 16 日（土）、紀伊國屋書店札幌本店 1 階インナーガーデンにて、先端経営学科・公開セミナー「ミステリー × インターネット」が開催されました。

諸岡卓真先生のご講演「テクノロジーがミステリーを変える！」、谷口文威先生のご講演「インターネットは『残念』か？」、諸岡先生、谷口先生、そしてミステリー評論家・作家の大森

滋樹さんを交えた鼎談「ミステリー × インターネット」について、大変ご好評いただきました。

当日は、現役のミステリー作家やゲームのシナリオライター、また子どもからご年配の方まで幅広い方々が、80 名近く参加していただき、質疑応答も活発に行われました。また、先端経営学科 4 年生の酒井梨乃さん、同 2

年生の谷口真人くん、山田雅俊くんの 3 名が進んでセミナーの準備作業のお手伝いをしてくれました。

（先端経営学科 松本紗矢子）



食生活改善運動

春の食生活改善運動（1コイン朝食）が実施されました。

江別市に所在する4大学（本学、酪農学園大学、札幌学院大学、北翔大学）の共同企画「食生活改善運動1コイン（100円）朝食」が5月27日から29日まで行われました。

この運動も、今回で15回目（本学は平成20年度の春から参画）を迎えました。

朝食は、心身共に健康な学生生活を送るための基礎になります。しかし、親元から離れて生活していると、だんだん健全な食生活から離れ、朝食をとらないことで生活リズムが乱れたり、

不規則な食生活が原因で体調を崩してしまうケースも見受けられます。

学生にきちんと朝食をとる習慣づけができればと1コイン（100円）での運動を実施しています。



献立表

1日目 和食メニュー

- ・チキングリル（もやしポン酢）
- ・厚焼玉子
- ・いんげんのゴマ和え
- ・ポテトサラダ
- ・つけもの
- ・ご飯、味噌汁
- ・牛乳 or オレンジジュース
- ・ゼリー

2日目 洋食メニュー

- ・ポークチャップ
- ・ブレンオムレツ
- ・ほうれん草とベーコンのバター炒め
- ・人参の野菜サラダ
- ・ヨーグルト
- ・つけもの
- ・ご飯
- ・牛乳 or オレンジジュース
- ・コンソメスープ

3日目 中華メニュー

- ・鶏の唐揚げ
- ・春巻き
- ・ビッグ肉団子
- ・春雨サラダ
- ・杏仁豆腐
- ・つけもの
- ・ご飯
- ・牛乳 or オレンジジュース

（学生サポートセンター事務室）

編集部も取材で

こんにちは！編集部のこっしーこと堀越です。早起きが苦手な朝食は食べたり食べなかったりする私ですが、頑張って早起きをして健康的にワンコイン朝食（5月27日～29日の3日間）行ってきました～

ワンコイン朝食ということで朝食が100円で食べられるのですが、とってもボリュームミーなのです！ご飯・味噌汁はかわり自由なので男子にも嬉しい朝食なのではないかなと思いましたね。



それに、毎日牛乳かオレンジジュースのどちらかを選べるので、その日の気分に合わせて飲み物をチョイスできましたよ！ちなみに私はオレンジジュースが好きなので3日間オレンジジュースを頼んでいました。

1日目は和食メニュー。主菜がチキングリルなのですが、和食らしくないな～と思ったら、タレがもやしポン酢で、とても和食らしいなっていました。この日は青リンゴゼリーも付いてきて、お腹も満足出来てよかったなあと思いました。

2日目は洋食メニュー。オムレツが

ふわっふわっでびっくりしましたね。2日目はヨーグルトが付いてきて、健康的で毎日やっていたら元気に毎日学校に通えそうだなと思い始めました。

3日目は中華メニュー。みんな大好きな鶏の唐揚げや肉団子、春巻きなど大好物のメニューで一人はしゃいでいました。好きな杏仁豆腐もついてきて私はとってもハッピーでした。

それなのにワンコイン朝食はもう終わり、、、朝食を食べるだけでこんなに日中の気分がいいとは思っていませんでした！これからは毎日、朝食を食べたいなあと思いました。



（編集部）

ユニバ UNIPA NEPAL STUDY TOUR 2015



UNIPA はネパールの子供たちにアートやデザインを使った遊びや日常生活で役に立つアイデアを届ける団体です。2013年に結成して以来2度にわたり現地へ赴き、活動して来ました。

今回は、2015年のスタディーツアーのスケジュールに沿ってどんな活動をして来たのかをご紹介します。各ワークショップでは現地の人々と深く関わることができてとても有意義でした。

また、5月に行われた報告会の様子も少しご紹介します。当日は発表だけではなく募金活動やチャリティーブースを設け、多くの来場者にご協力していただきました。大変感謝しております。

『日本ネパール手紙交換』

学校に通う10代前半の生徒、合計約200人を対象としたワークショップです。UNIPAのメンバーが1人2教室を受け持ち、学校の先生と協力してカタカナを教えました。最終的には、日本の子供たち宛てのメッセージとして、生徒全員に自分の名前と一言あいさつ文をカタカナで書いてもらいました。



『竹を使って箸作り』

ネパールに多く自生する竹を使った箸（他にも器や皿など）の作り方を教え、実際に作ってもらいました。そして、箸の使い方も教えて、自分で作った箸を使ってインスタントヌードルを食べてもらいました。現地の人たちには箸の持ち方は難しいらしく、苦労しながらも根気強く練習をしてくれました。



SCHEDULE

2.17

出発

日本 → タイ

2.18

タイ → ネパール

カトマンズ → ポカラ

2.19

日本ネパール手紙交換
ワークショップ

2.20

探検バッグを届ける
ワークショップ

2.21

竹箸ワークショップ

2.22

ペットボトルライト
ワークショップ

2.23

ネパール地域団体との
交流会

2.24

ポカラ → カトマンズ

2.25

ネパール → タイ

2.26

タイ → 日本 (帰国)

『探検バッグを届ける』

江別の小学校で不要になった探検バッグ120個を、つぼみ学校や他の学校に通う子どもたちにプレゼントしました。探検バッグの機能を紹介した後、実際にバッグ内からペンと紙を取り出してもらい、使い心地を体感してもらいました。子供たちはみんな喜んでたくさん絵を描いてくれました。



『ペットボトルライト』

つぼみ学校の周りに住んでいる人たちやネパールの市民団体であるユナイテッドクラブのメンバーに、ペットボトルライトの作り方をレクチャーしました。屋根にペットボトルライトを取り付ける時に、現地のトタン加工の職人さんが一生懸命手伝ってくれたのが大変印象に残っています。



学内報告会 5/21



2015年5月21日に北海道情報大学の講堂にて UNIPA の帰国報告会を行いました。来場者数は延べ 70 名で私たちの予想を遥かに超えるものとなりました。1 時間のプログラムの中で、UNIPA について、これまでの活動について、そして 2015 年のスタディーツアーについて、実際に行ったメンバー全員が発表しました。現地に行った

UNIPA のメンバーのほとんどは今年 3 月に卒業しており、川上ゼミ OB の林哲郎さんや向田ゼミ OB で大学院卒の熊谷賢二さんからはビデオレターをいただき、上映しました。発表の中では、自分が担当したワークショップへの思い、旅中でのエピソード、ネパールへ行ってみて感じたことなどを報告しました。

TV 番組との共演も!



今回の学内報告会には 2 つの TV 局に来ていただきました。1 つは NHK。もう 1 つが HBC の「ガッチャンコ・



ジャーニー」という番組です。この番組はアジアと北海道を繋げることをテーマにしており、リポーターであるペナルティのワッキーさんが大学へ来



てくれました。報告会后、ネパールの震災について対談する様子が 6 月 6 日 (土)12:30 に放送されました。

■URL : hbc.co.jp/tv/gaychanko/



安田光孝教授
(UNIPA アドバイザー)

我々が帰国した 2 ヶ月後の 4 月 25 日にネパールを大地震が襲いました。突然の悲報に我々 UNIPA も戸惑いを隠せませんでした。幸い、知り合いの全員が無事で、訪れた学校の子供たちもみんな元気だということでした。しかし、数千の方々が亡くなられ、最後

に訪れたカトマンズのダルバール広場などの歴史的建造物は壊滅的な被害を受けました。UNIPA として何が出来るのか? 答えはまだきちんと出ていませんが、小さなことでも我々が出来る範囲で継続的に活動を続けていく。それが重要だと考えています。

UNIPA メンバー募集中!



私たちはネパールに行く以外にも国内で様々な活動をしています、地域のイベントに参加して、ワークショップを行ったり、ネパールの子供たちとコラボしてグッズをデザインしたりもしています。そして、私たちは今一緒に活

動してくれる仲間を集めています。ネパールに行ってみたい人。国際交流に興味がある人。デザインをやりたい人。イベントを企画したい人。そして、この記事を見て少しでも私たちに興味を持った人はお気軽にご連絡ください。

■Facebook : [GlobalArtProjectHIU](https://www.facebook.com/GlobalArtProjectHIU) ■Mail : unipa.gap@gmail.com

※つぼみ学校…ネパールのポカラ市にある 3 歳から 12 歳までの孤児が通う学校です。

「メディア技術と医療分野の交差点に立って」

新任教員からのご挨拶

医療情報学部 准教授 さかい 酒井 まさひろ 雅裕



この4月に医療情報学部に着任を致しました酒井雅裕と申します。専門教員として2年生以降で履修する「医療経営概論」「医療統計学」「コンピュータシステムII」3年生・4年生のゼミなどを担当致します。自己紹介の機会を頂きましたので、簡単なお挨拶と抱負を申し上げたいと思います。

私は長らくコンピュータ技術者としてのキャリアを積んだ実務家です。大学在学中は、家庭の事情から就職活動を積極的に取り組みませんでした。母親が逝去し、介護から解放されると自動的に就労年齢で、高校生から好きだったパソコンの世界に就職をしました。

名古屋の地元の独立系デンソー社下請CAMソフトウェアメーカーに就職し、文系大学に通ったハンデをイチから克服させられました。数学を勉強し直し、PC98上でCADデータからCAMに渡す二次元もしくは三次元の点群生成のソフトウェアを開発する仕事を任されました。基本演算ルーチンをC++で書き直し、部下に渡したところで専門学校から誘われて教員になりました。

教員生活では3DCGと民生ゲーム機のアセンブラ開発の教育とカリキュラム開発を担当しました。教材の民生ゲーム機のアセンブラは単純でしたが特殊でした。家庭に大量に普及していたこのマシンで、当時のゲームメーカーはよくあれだけバリエーションのあるゲームを作れるものだと感心しました。単純なアーキテクチャでも無限の創造性を人はコンピュータによって発揮できるというこの経験も私の「コンピュータ観」「システム観」に大きな影響を与えました。

事情で教員をやめて、友人から誘われて社業を手伝う傍ら3DCG教育活動は続けていたところで、35歳で札幌のソフトメーカーに誘われました。自分のスキルとアイデアを十分活かす機会を与えてもらったこの会社には大変感謝しています。例えば情報処理振興機構(IPA)の「未踏ソフトウェア創造事業」へのエントリーと活動を認められたのも私のキャリアの大きな転機です。アラン・ケイ博士のプロジェクトに参加したことは数ヶ月であっても大変勉強になりました。

その後、北大との共同研究が始まり、その研究室で、自分の専門としていた「Web3D」で学位を取るチャンスももらいました。学位取得後、ご縁があって大学教員になり、経営情報学の研究と共に、コンピュータビジョンを陸上競技のコーチングに活かす研究やモバイル技術を認知行動療法に応用する研究など、メディア技術やモバイル技術の異分野との応用を研究テーマに据えてきました。下の写真のキャラクターは、この研究の取材を受けて、テレビ局から頂いたものです。

私が現在、学生の皆さんと共に学びたいことは、「サービスを消費する側」から「サービスを作り出す側」へのきっかけはどこにあるのか？ということです。医療分野を深く学んだ当学の学生諸君であれば、メディア技術を応用し、医療・健康分野での人々が驚くようなサービスを創造できる人材になりうると信じています。私の経験をみなさんにお伝えできるのは光栄です。未来を共に創り出しましょう。



「データの科学者」を目指して

新任教員からのご挨拶

情報メディア学部 准教授 甫喜本 司



うと「数学は苦手だし難しそう」と敬遠されがちな分野ですが、統計的なものの考え方を理解するだけでも身近に感じるようになります。また、最近では簡単な手続きで高度な統計計算まで実行できる優秀なソフトウェアが開発されており、コンピュータへの好奇心があれば、データ分析の醍醐味を体感することができます。最近では「データ科学」とよばれるようになったこの領域に関心を持つ研究者、あるいは学生の皆さんと共に今後とも前進していきたいと考えています。

そして現在の大きな課題は、4月の着任以来現在までそのままになっている引っ越しの荷物の片付け。慌ただしい日々の中で、研究室の隅で荷物の一部が放置されていることを忘れていました。そういえば、江別の実家には50冊の専門書がおいてあるから運んでこないといけない…慌ただしい日々はもうしばらく続くことになりそうです。

今から 25 年前、私は証券会社の研究所に就職しました。当時の証券業界は営業力で収益を競っていたのですが、私が入社した会社では新しい経営戦略の一つとして、国内外の経済や金融に関するデータを幅広く入手し、サーバ上に整備する作業を進めていました。そして、私の最初の仕事は、この得体の知れない膨大なデータの特徴を基にして株価の変化を予測する方法を開発することでした。コンピュータより示される株価の動きは、大学院で統計を研究した自分の経験を大きく越えて評価の難しい手ごわい対象でした。それ以降、海外の一線で研究されていた統計の手法を学び、コンピュータ上で予測の性能を検証しながらモデルの開発に奮闘しました。こうして会社の運用モデルができあがったのですが、バブルの崩壊で景気が悪くなるにつれて良い投資実績が出なくなってきました。このとき、人間の知恵は神のいたずらである偶然変動の前に無力であることを悟ったのですが、その一

方でデータと向き合うテクノロジーである統計の世界がもつ未知の可能性に魅せられるようになっていました。

その後、研究活動の舞台を大学に移し、海洋、環境、金融という異なる分野と関わりながら、統計学を基盤としたデータ解析手法の開発や、これを応用した実現象の解析に広く取り組んできました。特に予測問題は現在でも大きな関心の一つで、様々な時間的・空間的分布の変化が予測できないかと挑戦しています。人間の投資行動にも相変わらず関心があり、不規則な時刻に株式市場のサーバに入力される株価や取引量のデータの挙動をモデル化し、株価の変化を予測しながら運用成果を上げられないかと検討しています。

近年、インターネットで入手できる膨大なデータを利活用して新しい知識の創出に貢献する技術は「ビッグ・データ活用技術」とよばれるようになり、企業はこの技術をビジネスに活用できる人材（データ・サイエンティスト）の育成に力を注いでいます。統計とい





体育祭

2015.06.19 (金) / 2015.06.20 (土)

ソフトボール
バレーボール
ソフトテニス
卓球

サッカー
綱引き
ドッチボール
バドミントン



今年も体育祭が6月19日・20日に開催されました。25回目となる今年の体育祭は前日までは天候が不安定で心配しておりましたが、両日ともにスポーツ日和な天候で執り行うことが出来ました。今年度の体育祭参加者は昨年度の参加者よりも少なかったのですが、それでも参加者の競技にける熱い思いが体育祭を盛り上げて下さいました。そして、皆さんのフェアプレーのおかげで大きな怪我をされる方もおらず、無事に体育祭を終えることが出来たことを嬉しく思います。

今年度はルールの変更や競技場所の変更によって安全性や公平性を保ちつつ盛り上がる事が出来るように工夫しました。結果、度々訂正文書を出してしまい皆様にはご迷惑をおかけしてしまいましたが、競技自体では思い通りに進むこと

が出来たと感じております。

ジンギスカン交流会では昨年度の問題であった、入賞者への配慮や参加者の長時間にわたって待機させてしまったことから、流れを一から考え、担当と共にシミュレーションを繰り返して臨みましたが上手くいっただけではありませんでしたが、入賞者への配慮や問題が発生したときの対応を素早く行うことが出来たと実感しております。

今年度の体育祭では当委員会の反省点が多々浮かび上がりました。同時に、参加者及び教職員の皆様にも多大な迷惑をおかけしてしまったことを深くお詫びいたします。

しかし、そのなかで無事に体育祭を終えることが出来たのは、同窓会や教職員

の皆様、各競技の審判を努めてくださった各部活サークルの皆様、委員会OBの皆様や現役の委員会生の皆様、そして体育祭参加者の皆様の多大なるご協力によって出来ました。私が当学生実行委員会の委員長を務めてから初の大きな行事運営となりましたが、とても心強く救われました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

10月10日・11日に開催される蒼天祭では、体育祭で浮かんだ反省点を活かして、準備段階から気を引き締めて委員会一丸となって取り組んでいきますので、皆様のより一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

皆さんと一緒に北海道情報大学の行事を盛り上げていきましょう！

(学生実行委員会 委員長 佐々木創)

撮影 鹿野英恵





ななかまど隊 が取材してきた体育祭。はつらつプレーと、変なチーム名がいっぱいでした!

取材・撮影 鹿野英恵

1 日目

*バレーボール

優勝 G8

先輩方が多い中で、男女バレーボールで優勝したのはなんと1年生! インタビューをしてきました。

Q1 優勝した感想を教えてください

なんとも言えません、うれしいです。

Q2 獲得した食券で何を食べたいですか?

(学食で出るかどうかは別として・・・)

黒毛和牛の鍋が食べたい。

Q3 来年の出場はどう考えていますか?

来年も人が集まれば出たいです。2年

連続優勝を目指したいです。

ぜひ2年だけでなく、3年、4年と勝ち続けて欲しいですね。



優勝を飾った G8 のみなさん

準優勝 もろへいや

3位 OPI 高橋 ・ 隼 2015

*ソフトボール

優勝 柔らかい球同好会

準優勝 ゴットファザー上部

3位 Carry GG ・ 高道組

*ソフトテニス

優勝 藤原ゼミ

準優勝 ヤスマックス

3位 食券ガチ勢

*卓球

優勝 卓球素人(笑)

準優勝 CB - DOS

3位 はじ mains ・ チームワン

2 日目

*サッカー

優勝 優勝候補

2年と4年の学部・学科の違うメンバーで参加されたみなさんにお話を聞いてきました。

Q1 優勝した感想を教えてください

本気出し過ぎちゃいました♡

今年1番の青春です。

Q2 獲得した食券で何を食べたいですか?

カツカレーうどん、ジンギスカン

Q3 来年の出場はどう考えていますか?

来年は優勝候補という名前ではないと思います。来年出るかは、来年決めようと思います。

今年で4年生は最後。良い思い出になったのではないのでしょうか。



優勝を飾った 優勝候補 のみなさん

準優勝 もろへいや

3位 ジョーと愉快的仲間達 ・ あ

*綱引き

優勝 アイス英二

準優勝 ハロプロラブ

3位 TEAM グリコーゲン・ヤスタ教

*ドッチボール

優勝 plzCarryMe ・ 山北ゼミ

3位 YWP ・ 隼 2015

*バドミントン (男子)

優勝 食券もらいます?

準優勝 進撃のキモト

3位 進撃のゆうやんき

*バドミントン (女子)

優勝 クラムチャウダー

準優勝 となりのヤスタ

3位 トワイライト







なつは やっぱり 楽しくなきゃ

企業・病院説明会

「北海道情報大学 企業・病院説明会」開催

平成27年3月23日(月)京王プラザホテル札幌において、平成28年3月に卒業を迎える学生を対象に「北海道情報大学 企業・病院説明会」を開催しました。例年

は2月に実施していた本説明会ですが、今年は今就職問題懇談会による申合せ等により3月に実施しました。

説明会は合同説明会形式で、学生が

企業や病院のブースを訪問し、概要や特色、求人内容や採用スケジュール等を伺うという形で行われました。

説明会には38企業、4病院に参加していただき、300名を超える学生が会場に集いました。参加してい

ただいた企業や病院の中には、現場や人事として活躍している本学卒業生が担当者として後輩に説明を行う場面も多数見られ、学生は熱心にメモを取りながら話を聞いていました。

参加された企業・病院の皆さまからご回答いただいたアンケートでは、「もっと積極的に質問をした方がよい」、「企業研究をもっとしっかり行って欲しい」というアドバイス、また「熱心で積極的に質問も出された」という評価や、大学に対して「主体性を持つ教育方針に取り組んでいる」等、非常に貴重なご意見をいただきました。

説明会後の情報交換会では、株式会社ほくやく・竹山ホールディングス 経営管理統括本部 人事部次長 澤田 仁様から乾杯のご発声をいただき、その後教職員と企業・病院人事担当者との意見交換を行いました。学生サポートセンターでは、現在就職活動に励んでいる学生の皆さんが積極的に活動を行い、早期に内定、そして就職を決めることを期待しています。

(学生サポートセンター事務室)



先生ってこんな研究してるんだ！！

～ 情報大の先生の研究を紹介します！～



経営情報学部 教授 マネジメントサイエンス研究者

向原 強 教授

Q1. 大学の先生になる前はどんなことをしていましたか？具体的にどんな仕事ですか？

勤務先で経理や原価計算業務をしていました。原価計算とは、そのものを作るのにかかった費用を計算する業務です。お金の計算と思われがちですが、扱うデータはそれだけではありません。作業時間や材料の量などを多角的かつ合理的に判断し、製造費用に組み入れます。データの持つ意味を合理的に判断するという意味では今の私の専門と関連性の高い業務だったように思います。

Q2. 大学ではどんな専門分野を教えていますか？

マネジメントサイエンスを教えています。世の中の問題をコンピュータの力で解決する技法という難しいですが、例えば札幌市のどの地区に何台の救急車両を配置すると合理的か？ 配達トラックが複数のコンビニを最短ルートで回るには？ そうしたこれま

で人間の経験や勘に頼ってきたことが、コンピュータを活用することで、よりよい答を誰でも導けるようになります。将棋のプロがコンピュータに負けたという話を聞いたことがあると思いますが、その一例です。今日のインターネット社会で扱うデータ量は膨大です。この膨大なデータ（ビッグデータ）の前では人間の問題解決能力には限界があります。マネジメントサイエンスの果たすべき役割は大きいと考えています。

Q3. 具体的にどのような知識と技術が身につきますか？

利用者の観点からコンピュータを使いこなす技術が身につきます。そのためにプログラムを作成することもあります。それはプログラマーがクライアントのために作るものとは全く違います。一番の違いは表計算ソフトである Excel を使うということです。たかが Excel と思われがちですが、実は膨大なデータから重要な意味を見いだす道

具としては非常に強力な道具です。それにこれなら難しい数学などできなくてもいい（笑）。しかも自分で作れるから業者に発注するコストもかからない、これはとても有効です。単に Excel の使い方を覚えるのではなく、問題解決技法の道具として Excel を活用できる知識や技術を修得しましょう。

Q4. その知識と技術は社会でどのように生かすことができますか？

仕事の価値は、いかにして付加価値を生み出すことができるかによって決まるものです。私が企業に勤務していた時、Excel を使った原価計算システムを開発することで大幅に業務を効率化することができました。それまで1日かけて計算書を作成していたのが10分程度で済むようになりました。ソフトウェア会社に頼むこともできたわけですが、原価計算業務に関する知識をもつ我々（＝現場担当者）が開発することで、大幅に低コストでシステム開発できました。利用者の観点からコンピュータを使いこなすことは重要なのです。

Q5. 卒業生はどんな仕事についていますか？

コンピュータを道具として使いこなせるようになれば、就職対象となる業界・職種はかなり広がります。ソフトウェアベンダーに就職した卒業生もいますし、一般企業を志向する学生もたくさんいます。警察官になった学生もいますし、大学院を卒業した人の中には統計ソフトを活用した専門職についた人もいます。しいて言えば私のゼミには明るい学生が多く、営業職が多いですね。いろんな場面でコンピュータを活用して付加価値を生み出す仕事をしたいです。

「第2回 日中学生文化交流会」を開催して

経営情報学部教授 玉置 重俊



本学の外国人留学生委員会が主催した「第2回 日中学生文化交流会」は、1月22日（木）に、本学の会議室で開かれた。ここでは、その内容について、教職員と学生たちにいささか紹介したい。

この交流会は、日中の政府間での関係がここ数年、とても悪かったため、

我々庶民レベルで日中関係を少しでも改善したいという気持ちから、企画された側面もあるが、ただ、交流会の真の目的は、本学の留学生と日本人学生の率直な対話と交流を通して、相互に両国の文化や習慣を理解し、かつ友情と親睦も深めることにあった。

今年も、本学の学生 10 名と中国人

留学生 13 名が交流会に参加して、相互に自己紹介や短いお話しなどを交えながら、学生同士の交流と親睦を深めることができたように感じた。交流会では、例年通り日本人学生には、できるだけ中国語を使って、自己紹介と短期留学の経験などを語ってもらい、反対に中国人留学生には、流暢な日本語

第二回●日中留学生文化交流会

を用いて、自己紹介や短いお話をしてもらおうという形式で進行させてみた。

したがって、参加学生たちが話す順序も、お決まりの座席順ではなく、今回は「運を天に任せる」くじ引きで決めることにした。これは、話す順番が何時になるか分からないので、却って臨場感が高まり、なかなか会場の雰囲気良くってきた。

ただ、日本人学生の中国語のレベルはそれほど高くないので、話す時間は確かに長くはなかったが、それでも中国人留学生には、意外と感銘を与えたのか、彼らの笑顔と驚きを誘っていた。おそらく日本人学生が何を言いたいのか、彼らにはある程度は予測できるのであろう。日本人学生の中では、やはり昨年の中国短期留学に参加した三名が、何とか通じる多めの中国語で、一生懸命に中国語を話そうという熱意は、大いに伝わっていた。

中国人留学生たちは、当然のことながら、日本語能力が高いレベルにあるので、色々な話題を語ってくれた。例えば、「お正月の過ごし方」、「自分の趣味」、「日本での留学生活」、「日本でのアルバイト」、「クリスマスの過ごし方」など、多方面に及んでいた。函館で撮った多くの写真をiPadから、日本人学生たちに詳細に伝えようと頑張った留学生もおられた。ここまでは、去年の交流会での状況とあまり変わらなかったが、今年の新しい試みとしては、二つの演技が披露された。

一つ目は、3年生の高野慧太君が彼自身が昔習った合気道の二・三の基本技をみんなに実技も入れながら、見せてくれ、日本の武道の一端を中国人留学生に紹介できたことである。

二つ目は、筆者が自分の趣味である剣道の防具や竹刀も会場に持参して、剣道の稽古や試合のルールなどを説明

し、また防具の装着の方法も具体的に解説してみた。剣道の各種防具は、普段はなかなか目にできないので、中国人留学生たちも興味津々という表情で、筆者の説明を聴いていたようであった。

会場には、国際交流・留学生支援室の方々も見学に来られ、参加者全員に、お菓子、軽食、コーラなども提供されたので、今年の文化交流会も、何とか有意義なイベントとして、両国の学生たちには、とても喜ばれ、楽しんでもらえたと言える。ただ、今年は、日本人学生の参加人数が、諸々の事情により、多くはならなかったため、次回の文化交流会の開催日程に関しては、いささか検討を加える必要がある。



栗山ゼミ

経営情報学部
先端経営学科

当ゼミでは、『未来予想図』づくりというユニークな活動を展開しています。メンバーは、よさこいソーランサークルや野球部といった体育会系と、文科系理論派が混在しており、人種の坩堝（るつぼ）の様相を呈しています。共通点は、ゼミの募集面談で「うちのゼミは厳しいよ」と言っておいたにも関わらず、「厳しくても何かが得られるゼミを敢えて選んだ」変態 M 系学生たち、ということでしょうか。

藤原ゼミ

情報メディア学部
情報メディア学科

藤原ゼミではコンピュータビジョンを中心として関連する分野も含めて取り組んでいます。

ちょっと難しい表現かもしれませんが、「新しい画像処理アルゴリズムを考えて実装」するテーマか、「既存の手法を応用した新たなソフトウェア」を作るテーマ（もしくはその両方）に分類されます。3 年生のゼミでは特に後者について実施していて、Processing という（とても導入しやすい）開発環境を使い、できるだけ入口は入りやすくしておきつつも、先端的な、もしくは楽しめるアプリケーションを製作します。具体的には USB カメラや RGB-D カメラ（MS Kinect に代表される 3D 計測や人体計測ができるカメラ）をプログラムで制御し、計測される映像・画像を用いたアプリケーシ

毎週のゼミ活動は極めて真面目に実施しております。『未来予想図』とは、現在の就活のみならず、もっと先の人生まで見据えた人生設計に取り組むものです。その第一歩は本来の自分の「ありたい姿（To Be）」を徹底的に考え抜くことから始まります。自分の名前の命名の由来や願望の棚卸といった活動を重ねていく中で、それはだんだん形になっていきます。更にそのイメージを職業とマッチングし、自分が最初に選ぶ職業についての仮説を構築します。その仮説を、当ゼミと連携してい



ョンを作ることになります。前期から駆け足にはなりますが、10 月の蒼天祭でも出展します（2014 年度では RGB-D カメラを使い、ジェスチャー認識によるゲームを展示しました）。また、こんな開発ができるように入門講座も前期で実施していますが、開発時には適宜 OJT (On-the-Job Training) 形式でも指導をしています。

る学外の NPO 法人とのコラボレーションによって検証していきます。これらの一連の活動の結果、進路と卒業論文のテーマが同時に明確化され、将来に対する不安や迷いが解消され、自信を持って社会に出ていけるようになってもらうことを目指しています。また仕事力の向上を目指して、3 分間プレゼンテーションというトレーニングを通じてプレゼン能力も徹底的に鍛えています。関心をお持ちの方は是非仲間入りをご検討下さい。

4 年生のゼミでは各自で卒研のテーマを定めて取り組みます。進展具合にもよりますが、タイミングがあれば学外発表（学会・大会・研究会）にもチャレンジします。ゼミを通して社会人に必要な基礎力を養ってだけでなく、難問を乗り越えた時に得られる達成感についても是非味わってほしいなと思っています。



酒井ゼミ

医療情報学部
医療情報学科

酒井ゼミは医療情報学部の3年生5名で構成する本年度から開始した新しいゼミです。現在取り組んでいることは「興味のあることを見つける」「調べる」「自分の考えをまとめる」「発表する」この4つのトレーニングを中心に進めています。

例を挙げると、ある学生は現在プログラミングにフォーカスをして調査していますが、先日のプレゼンは「プログラミングの利点」でした。「計算の自動化」というキーワードで「何を自動化するのか」「何が自動化されたら、

しあわせなのか」というテーマで討論をしていました。その討論の中から、次の調査のトピックを見つけ、次回プレゼン調査のテーマ設定を行います。当面はこのスタイルでゼミを続け、年度末までには、医療分野の経営情報学研究か、もしくはコンピュータシステムの構築、研究のいずれかを選択して卒業研究につなげてもらう予定です。しかし4年生の卒業研究は、昨今の就

職活動の様子を鑑みるともう少し早いタイミングで進めなければならないかもしれないと感じています。

ゼミ長の鬼塚君はゼミ員の面倒見が大変よく、こまめな連絡も率先してこなしてくれます。メンバーも明るくユニークで楽しい気のいい奴らばかりです。「明るく楽しくしっかり学ぶ」をモットーに卒業までしっかりサポートしたいと思います。



古川ゼミ

経営情報学部
システム情報学科

私のゼミナールでは、人工生命(A-Life)、複雑ネットワーク、メタヒューリスティクスを中心とした基礎と応用技術に取り組んでいます。

A-Lifeは1980年頃から始まった学問で、地球上で生存可能かもしれない生物と実際に存在する生物を広い生物と考え、コンピュータ内で地球と同じ環境を設定して生物をモデル化します。コンピュータ内でモデル化された生物は、進化と学習を繰り返すことによって環境に適応した知能、行動、形態、等を獲得するようになります。このような研究は生物に関する新しい知見や、ロボットの設計に役立ちます。

複雑ネットワークもやはり1980年頃から始まった学問で、インターネットに見られるような大規模なネットワークの複雑性を調べるものです。大規模なネットワークでは、人工的に作成されたものも自然に存在するものも共通する特徴が分かっています。取り扱う範囲は広く、感染症の拡散速度、インターネットの推薦システム、

ホテルの点滅の同期問題、線虫類の神経細胞網の研究、推薦システム、等たくさんあります。

メタヒューリスティクスとは、自然界に見られる最適化の現象を工学の最適化アルゴリズムに置き換えた方法を学びます。特に、遺伝的アルゴリズムや、粒子群最適化、アントコロニー最適化、ニューラルネットワーク、等は、実用上で広い応用問題が広がっています。

ゼミナールでの一年間の生活は、ほぼ、3期に分かれています。1期目は3~4年生合同で文献発表を行います。3~4年生合わせて12人程ですから二週りすると24編ほどの論文を読んだ

ことになります。4年生は3年生の時を合わせると合計50編くらいの論文の勉強になります。2期目から4年生は卒業論文の基礎演習問題、3年生は主にCGの練習問題に取り組めます。3期目になると4年生は本格的に卒業論文に取りかかり、3年生は少し大きなシステムと呼べるプログラムの練習を行いません。この間に、3年生の歓迎コンパや北見工大(2研究室)、北海道科学大学(1研究室)との夏合宿、忘年会、卒業生追い出しコンパ、等も行なっています。写真は、昨年度に当麻で行なった北見工大との集合写真です。4年生での卒業論文の達成感を目指して一緒に勉強してみませんか。



Q1, 学内でお昼ごはんを食べる時、何を食べますか?



まず1つ目の質問。学内でお昼ごはんを食べる時何を食べるか、5つの項目(学食、eDC カフェ、弁当持参、売店で購入、コンビニで購入)から選択してもらいました。

その中で1番多く選択されたのは「弁当持参」でした。お母さんの愛情こもったお弁当でしょうか?それとも自分で作ったお弁当でしょうか?

2番目は「学食」。定食やラーメン、そば、うどんの種類豊富なのが魅力ですね。ちなみに好きなメニューにかけ

うどんや定食を挙げている方もいました。

3番目は「eDC カフェ」でのごはん。eDC カフェは学食とはまた違った雰囲気、メニューがあり、人気の場所と言えます。「スープカレー」、ボリューム満点の「よくばりプレート」が好きなメニューとして挙げられていました。

4番目は「売店で購入」。5番目は「コンビニで購入」でした。大学近くにコンビニがあるので、登校時に購入する方も多いのではないのでしょうか。

Q2, 得意料理はありますか?

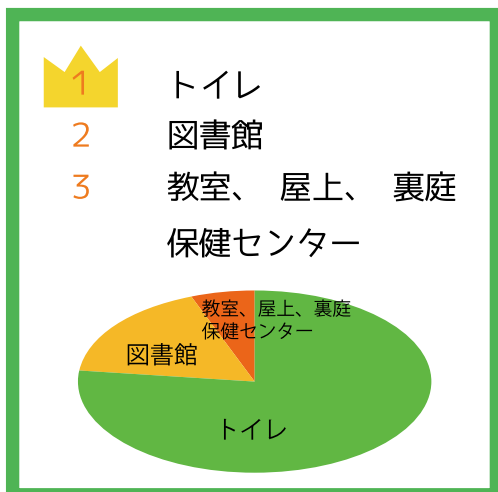


2つ目の質問は、得意料理があるかどうかを聞きました。無いと答えた方も数人いましたが、大半の方があと回答!その料理名も聞いてみました。

1番多く選ばれたのは「チャーハン」でした。2番目に「スパゲッティ」3番目は同票で2品目、「カレー」「オムライス」4番目は「味噌汁」5番目は複数あり、「ハンバーグ」「麻婆豆腐」「玉子焼き」「スープカレー」でした。やはり普段から馴染みのあるメニュー、そして簡単に出来ておいしい料理が多

く感じます。スパゲッティはパスタを電子レンジで茹でられる調理グッズもあるので簡単で便利。少数票で、オムソバ、野菜炒め、ムニエル、角煮、肉じゃが、ドリア、ピザ、ラーメン、牛丼、カルパッチョ、ラザニア、パエリア、生姜焼き、ビビンバ、ハヤシライス、焼きそばなどがありました。中には、そばサラダ、うどんナポリタンという興味深い珍しいメニューもありました。

Q3, 妄想してください。もし学校で泣くとしたらどこで泣きますか?



今まで食に関する質問でしたが、ここで急に変わります。3つ目の質問は、もし学校で泣くとしたらどこで泣くか、というものです。

圧倒的に票が多かったのが「トイレ」でした。中には1階のトイレの1番端、eDCの1階のトイレなど詳しく書いてくれている方もいました。2番目は「図書館」。図書館2階の本棚の下で体育座りをしながら泣く、というとても具体的に回答してくれた方もいました。

3番目は同票で複数あり、「教室」「屋上」「裏庭」「保健センター」でした。

「誰も見ていないところであればどこでも」「誰もいない場所」と回答してくれた方もいましたが、トイレも個室があり1人になれるという点が1位の理由だと感じました。泣く時は人に見られたくない人が多いようです。他に「実習室。データが破損して消えた時」という回答がありました。これは情報大生なら共感者多数なのでは?

ダーツサークル

formula

○ダーツサークル-formula-とは

ダーツといえば「大人の遊びじゃない?」と敬遠されることが多いですが、私たち formula は、娯楽性よりも、より競技性の高いスポーツとしてのダーツを楽しんでいます。サークルの練習ではプロプレイヤーに教えてもらい、皆真剣にダーツの腕を磨いています。

実際に大会で受賞してるメンバーも多数います。いっしょに楽しみませんか?

○活動日・活動場所

活動日 月・金

活動場所・時間 学内 18:00～20:30

学外 18:00～20:00

活動場所 ミュージックハウス

○メンバー募集

ダーツサークル-formula-では、学年を問わず新しいメンバーを募集しています!見学・体験だけでも大歓迎です!!

○問合せ

部長 古野晏司

サークルg-mail: hiu.formula@gmail.com

Twitter: @HIU_formula



この先生の裏の顔シリーズ

第5回 齋藤 一先生

情報メディア学部



皆さんは、ご存じだろうか、かつて、この大学にあった『フィールドホッケーサークル [1]』（平成 20～23 年、写真は平成 20 年 札幌市民大会）を。

野球の硬球よりも堅いボールを棒っこ（スティック）で叩き合う、陸上の格闘技、フィールドホッケー。正式名称は、ホッケー。日本ではマイナーだが海外ではメジャー（サイモン先生もプレー経験があると聞いたことがある）で、歴としたオリンピック正式競技である（日本のホッケー協会 [2] は、2020 年東京オリンピック前にも関わらず揉めているようだ。。）。この競技、プレイヤーは、サッカーと同じく 11 人（6 人制もある）。アイスホッケーとは違い、キーパー以外は防具を着けない。自陣のゴール近くで反則があると、ペナルティコーナーと呼ばれる悪魔の儀式が開始される。キーパーに加え、生身の選手 3 人は、ゴール付近で、相手が思いっきり打ってくるボール（シュート時のボールスピードは時速 150～200km 近く）を、さも斬鉄剣で銃弾をかわず石川五ェ門のように

スティック 1 本だけで防がねばならないのである。122 研究室に置かれた謎のマスク？！は、この悪魔の儀式のときだけ装着することが許される命のアイテムなのである。

彼は、中学からホッケーをはじめ、大学院（修士）まで選手を続けていた。国体に出るのに大学を休ませてもらったこともあった。さすがに博士課程で両立できずに一端止めていたが、HIU フィールドホッケーサークル設立時に再びプレーをするようになった。大学近くの野幌運動公園は、道内唯一のホッケー場（人工芝）があり、学生時代から何度も通っているらしい。

だが、北海道の冬は長い。道外（栃木県）出身の彼には長すぎる冬。雪が降ってはホッケーができない。素直にアイスホッケーをすればいいじゃないかと思うが、

そんな簡単にスケートが滑れるなら苦労しない。しかし、北海道にはスノーホッケー [3] がある（道民のアレンジ力は半端ない）。体育館でできるフロアボール [4][5] だってある。

彼も 40 を過ぎ、できることはできるうちに悔いなくやっておきたいらしく、最近、無謀にもスノーホッケーもフロアボールもはじめてみたようである。これらの競技、興味がある人は 122 研究室まで行ってみると良い。彼はいつも夢見ている。HIU フィールドホッケーサークルが復活するその日を。



[1] HIU ホッケーサークル活動履歴、<http://s123.do-johodai.ac.jp/hockey/>

[2] 日本ホッケー協会、<http://www.hockey.or.jp>

[3] スノーホッケー（札幌市）、<http://www.city.sapporo.jp/sports/jigyuu/snow-hockey/>

[4] 日本フロアボール連盟、<http://www.floorball.jp>

[5] 北海道フロアボール普及プロジェクト、<http://hokkaido-floorball.jimdo.com>

ガーデニングプロジェクト

おはながかり

宿根草のガーデンです。
7月頃が見頃ですよ
来年から、
もっともっと
きれいにしたいまわー！

カボチャも植えたよ！
楽しみにしてね。
ハウスの



「おはながかり」は大学の敷地全体をガーデンのようにしてしまおうという目標を持って立ち上げました。

まず、石垣のような「厳つく厳しい」雰囲気「校門」の周辺を、ガーデニングで爽やかに演出し、歓迎の気持ちを表現すると共に、学生の登校時の心を和らげ、少しでも不安な気持ちを解消することを願い、植栽計画を提出しました。

もう一つのねらいとして、植物を育て、成長し、花が咲き、実がなることを、体感してもらい、達成感と、心の解放を目標とする「花育」を考えています。

具体的には、学生のガーデニングサークルを立ち上げ、活動していきます。学生・教職員で興味を持った方は、どんどんご参加ください。(受付は研究室228)

「ガーデニング」とは庭づくりの事ですが、「花壇づくり」と違うのは、あるスペースを花で埋めようとするのが「花壇」であるのに対し、全体のスペースをキャンパスと考え、建物や色々な構築物と樹木の存在も考慮し、スペースをデザインするのが「ガーデニング」です。

最初は大学正面の校門の前の7m×9mのスペースを「ウェルカムガーデン」

として作る計画を立て、企画書を提出し承認してもらいました。

最初の作業は、みんなで雑草が生えていた地面をはぎ取り、花を育てるために作られた土をトラックいっぱい入れました。そこに、サークルのメンバーがデザインした平面図に合わせて3つのスペースを作り、小径を作りました。

今後の広がりも考えていますが、今はこの「ウェルカムガーデン」に宿根草を植えて、手入れしています。宿根草は、年を越して来年以降も咲き続けます。見頃も来年以降です。葉もきれいですよ！



学生FD



学生FDはFaculty Developmentの略で、授業改善のための組織的な取り組みを行っています。

現在2年生4名、3年生1名、4年生2名、計7名で活動を行っています。

FD活動は、「学生が本当に求める授業」にするため、様々な活動・企画を通して学生視点で授業や教育のあり方を考えます。学内においては、学生からの「授業にどのような不満を持っているか。」などと学生からの一方的な話ではなく、「どういった狙いで授業をしているのか。」などの、学生と先生の双方向の意見交換の円滑にすることを目指し活動を行っています。

昨年度まで学生FDは人数が少なく、あまり活発な活動ができませんでした。ですが、今年度は人数が増え活動の幅が増えつつあります。

学生FDでは、現在様々な活動が進められています。その一つは他大学との交流です。

全国の大学に「学生FD」が存在します。そして、それぞれの大学で抱えている問題や様々な活動、企画を行い活

動をしています。

我々学生FDは、今年からほとんどゼロからの再スタートです。学生FDとしての知識がほとんどありません。なので現在、札幌圏の大学2校と交流があります。そこでは、大学でどのような活動が行われているのかを聞いたり、他大学と連携して何か企画やお互いにメリットがあることは何かと模索中です。

学内では、現在主に2つについて学生FD内で考えています。それは、「iPadの活用方法について」「e-ご意見箱について」です。

「iPadの活用方法について」は、現在情報大学では、iPadが1年生～3年生に導入されていますが、学生の中では「操作する方法がわからない。」「どのように活用すればいいのかわからない。」などの声があります。それらの声を解消するために現在「iPad講座」を企画しています。基本的な操作や授業で活用出来るアプリなどの紹介、そして、何故iPadが導入されたかなどの大学でiPadをどのように活用して

いけば良いのかわかる企画を計画中です。

「e-ご意見場について」は、情報大学の学習ポータルサイトPOLITEにて学生FDのページがあります。その中に授業の改善に関する意見をポータルサイトで回収出来る仕組み「e-ご意見箱」があります。

現在e-ご意見箱は生徒の周知が少なく、そして利用頻度が少ないことから現在意見の回収方法を再度考え直どのような方法で回収するのか検討中です。

学生FD室は大学本部棟2階にあります。学生FD室には冷蔵庫やコーヒーマーカーが設置してあり、普段からFDのメンバーは時間が空いてる時は部屋に集まり、コーヒーやお菓子を食べながら雑談したり様々な事柄について議論を交わしたりと楽しく活動を行っています。

そして、学生FDでは随時メンバーを募集しています。興味がある方は学生FD室までお越しください。

随時メンバーを募集

大学主要行事など <3月2日~5月31日>

◆◆ 教職員の動向 ◆◆

◇法人本部◇

《職員》

3月31日付

(退職)

退職法人本部顧問 横田 敏男

4月1日付

(配置換)

東京事務所長代理 富樫 恵一 (広報室課長補佐)

◇大学◇

《教員》

3月31日付

(定年退職)

教授 中村 鎮雄 (情報メディア学科)

教授 中村 忠之 (先端経営学科) (4/1 付特任教授に採用)

(退職)

准教授 金間 大介 (先端経営学科)

准教授 小西 二郎 (先端経営学科)

准教授 大場 久照 (医療情報学科)

准教授 大島 直樹 (情報メディア学科)

4月1日付

(就任)

副学長 澤井 秀

経営情報学部長 澤井 秀

通信教育部長 渡部 重十

教養部長 穴田 有一

学生部長 川上 正博

保健センター長 佐藤 裕二

学習支援センター長 加藤喜久子

情報センター長 廣奥 暢

先端経営学科長 長井 敏行

システム情報学科長 谷川 健

医療情報学科長 佐藤 浩樹

情報メディア学科長 守 啓祐

(採用) 特任教授

中村 忠之 (先端経営学科)

准教授 酒井 雅裕 (医療情報学科)

准教授 浦喜本 司 (情報メディア学科)

《事務職員》

3月31日付

(退職)

図書館事務室長 佐藤 貴俊

学生サポートセンター事務室長

堀山 敏文

4月1日付

(兼務)

図書館事務室長 川口 修一 (副事務局長)

学生サポートセンター事務室長 大橋 正典 (事務局次長兼広報室長)

(配置換)

広報室長補佐 田中 克義 (東京事務所長代理)

学生サポートセンター事務室学生課長

橋本 充浩 (入試課長)

入試課長代理 古賀 朋子

(学生サポートセンター事務室学生課長代理)

広報室主任 大山 康成 (東京事務所主任)

◆◆ 主要行事 ◆◆

◇法人本部◇

3月2日~4日 有限責任監査法人トーマツ「平成26年度期中監査」

3月26日 理事会・評議員会

5月14日 理事会・評議員会

5月18日~22日 有限責任監査法人トーマツ「平成26年度期末監査」

◇大学◇

3月2日 編入学試験(3次募集)

4日 経営情報学部教授会、医療情報学部教授会、

情報メディア学部教授会

5日 iPad ワークショップ

6日 FDフォーラム

9日 一般2期入学試験

12日 経営情報学部教授会、医療情報学部教授会、

情報メディア学部教授会

19日 学位記授与式・卒業祝賀会

20日 特別AO入学試験(D日程)

23日 企業・病院説明会

4月3日 入学式

4日~9日 スタートアッププログラム

8日~9日 新入生宿泊研修

10日 前期開講

10日 全学教授会

17日 経営情報学部教授会

24日 医療情報学部教授会、情報メディア学部教授会

5月9日 水曜授業日

15日 全学教授会

22日 経営情報学部教授会

27日~29日 春の食生活改善運動

29日 医療情報学部教授会、情報メディア学部教授会、保護者の会役員会

◇大学院◇

3月27日 研究科委員会

4月3日 研究科委員会

4月8日 学位論文等研究計画発表会

4月28日 研究科委員会

5月30日 大学院推薦入学試験

◇通信教育部◇

3月13日 春期第6回入学者選考

3月19日 学位記授与式

3月31日 春期第7回入学者選考

4月1日 前期インターネットメディア授業開始

4月3日 入学式・オリエンテーション

4月6日 前期IPメディア授業放映開始

4月8日 春期第8回入学者選考

4月22日~23日 名古屋教育センター 大学見学

5月11日 春期第2期入学者選考

5月23日~24日 前期印刷・インターネットメディア授業科目試験①

◆◆ 広報活動 ◆◆

《進学相談会》

3月:北海道 9会場 (函館、帯広、根室、釧路、岩見沢、倶知安、北見、羽幌、網走)

4月:北海道21会場 (稚内、旭川(2)、函館(2)、小樽、帯広(2)、大樹、花川南、北見、苫小牧、中標津、札幌(3)、室蘭、釧路、江別、新札幌、静内)

5月:北海道12会場 (留萌、札幌(4)、旭川、名寄、紋別、北見、枝幸、釧路、帯広)

青森県 2会場 (青森、弘前)

秋田県 1会場 (秋田)

埼玉県 1会場 (さいたま)

《高校内ガイダンス》

3月:北海道 7校 (北海道大谷室蘭高校、札幌南高校(定時)、遠軽高校、旭川明成高校、広尾高校、美瑛高校、芦別高校)

千葉県 2校 (千葉黎明高校、敬愛学園高校)

神奈川県 1校 (相洋高校)

4月:北海道 2校 (江陵高校、滝川西高校)

東京都 1校 (関東第一高校)

5月:北海道 8校 (駒澤大学附属苫小牧高校、北星学園女子高校、北海学園札幌高校、小樽明峰高校、飛鳥未来高校[札幌キャンパス]、札幌龍谷学園高校、上ノ国高校、南幌高校)

埼玉県 1校 (埼玉栄高校)

東京都 1校 (東京実業高校)

神奈川県 3校 (横浜清風高校、武相高校、相洋高校)

《高校内進路講演会》

3月:北海道 5校 (江陵高校、札幌東豊高校、滝上高校、鶴川高校、苫小牧南高校)

5月:北海道 4校 (旭川明成高校、函館大学付属柏稜高校、クラーク記念国際高校[大通キャンパス]、札幌山の手高校)

《高校出張講義》

3月:北海道 5校 (クラーク記念国際高校[大通キャンパス]、札幌南高校(定時)、名寄産業高校、旭川商業高校、鶴川高校)

《高校訪問》

3月:北海道 83校、埼玉県 1校、東京都 1校、神奈川県 3校

4月:北海道 63校、埼玉県 3校、千葉県 1校、東京都 3校、神奈川県 4校

5月:北海道 197校、秋田県 24校、千葉県 2校、埼玉県 6校、東京都 5校、神奈川県 2校

《オープンキャンパス》

3月22日 本学

4月19日 本学

4月26日 本学 (女子カフェ:女子限定)

5月24日 本学

《大学進学資金説明会(保護者対象)》

3月22日 本学

4月19日 本学

5月24日 本学

◇通信教育部入学説明会:本学独自◇

3月:3会場(東京(2)、本学)

4月:2会場(東京、本学)

◆◆ 主な来学者 ◆◆

◇広報室来学者◇

3月9日 札幌拓北高校(教員1名)

4月27日 旭川明成高校(教員2名)

5月12日 登別青嶺高校(大学見学:生徒13名、教員1名)

5月15日 旭川龍谷高校(大学見学:生徒2名)

学校法人 電子開発学園 平成26年度決算の概要

平成26年度決算が理事会ならびに評議員会で承認されましたので、その概要についてお知らせ致します。

学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「消費収支計算書」、財政状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条および学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成したものです。

①資金収支計算書

平成26年度の収支状況を資金収支計算書により資金の流れを予算と決算で比較すると、収入は学生生徒等納付金及び手数料収入が予算対比3百万円減少、補助金収入が予算対比9百万円増加、資産運用収入が予算対比5百万円増加、資産売却収入は有価証券の期限前償還等により予算対比1億円増加、学費前受金収入が予算対比56百万円増加、その他の収入では退職給与引当特定預金からの繰入収入および立替金回収収入がそれぞれ6百万円増加し、前年度繰越支払資金の44億38百万円を加えると、収入合計は95億63百万円となり、予算対比1億67百万円の収入増となりました。

支出については、人件費が予算対比14百万円減少、教育研究経費及び管理経費については、予算対比66百万円減少しました。施設関係支出は体育館照明器具更新工事により、予算対比5百万円増加、設備関係支出では教育研究用機器備品・その他の機器備品支出が予算対比4百万円減少しました。資産運用支出は退職給与引当特定預金への繰入支出が予算対比1千万円増加、次年度繰越支払資金の46億85百万円を

加えると、支出合計は95億63百万円となり、予算対比1億67百万円の支出増となりました。

②消費収支計算書

平成26年度の消費収支計算書により予算と決算を比較すると、収入は学生生徒等納付金及び手数料が予算対比3百万円減少となりましたが、補助金、資産運用収入、雑収入で予算対比増となり、合計で21百万円増加し、その結果、帰属収入合計は42億85百万円で予算対比19百万円の増加となりました。基本金組入額はタブレット端末の購入及び教育研究活性化設備事業の機器備品の購入、機器備品の除却で1億9千万円となり、予算対比41百万円の増加となりました。消費収入合計は帰属収入合計から基本金組入額を差引いて、40億95百万円で予算対比22百万円の収入減となりました。

支出については、予算より決算支出が減少となり、人件費が19億78百万円で予算対比1千万円減少、教育研究経費・管理経費は20億2百万円で予算対比65百万円減少、資産処分差額は2百万円で機器備品処分差額が予算対比2百万円減少、徴収不能引当金繰入額等は26百万円で、予算対比4百万円減少となり、消費支出合計は40億25百万円で、予算対比8千万円の支出減となりました。

以上により、当年度消費収入超過額は7千万円となり、翌年度繰越消費収入超過額は9億58百万円となりました。

③貸借対照表

平成26年度末における資産の部合計は149億96百万円で前年度末対比74百万円増加しました。その内訳は固定資産では主に建物が体育館照明器具更

新工事等で15百万円増加、減価償却額で1億71百万円減少、構築物が減価償却額等で11百万円減少、有価証券が債券の期限前償還及び購入で23百万円減少、退職給与引当特定預金が39百万円増加し、101億21百万円で前年度末対比1億76百万円減少となりました。流動資産は48億74百万円で前年度対比2億5千万円増加し、主に現金預金が2億47百万円、未収入金が4百万円増加しました。

負債の部合計は31億2百万円で前年度末対比1億86百万円減少しました。その内訳は固定負債が主にeDCタワー等の長期借入金が1億1百万円減少、長期未払金が9百万円減少、退職給与引当金が44百万円増加し、合計67百万円減少となりました。流動負債は主に未払金が97百万円減少、学費前受金が3千万円減少、預り金が7百万円増加し、合計1億2千万円減少となりました。

基本金の部合計は109億35百万円で前年度末対比1億87百万円増加しました。その内訳は固定資産のうち継続的に保持すると判断されるものの額を示す第1号基本金への組入額が1億87百万円となっています。

今日、私学を取り巻く環境は、学齢人口の減少等により年々厳しくなっています。本学園は、健全な財務体質を維持するために教職員が一致結束して、教育サービスの見直しを進めて定員を確保する必要があり、徹底したコスト削減に取り組み、安定した学校経営を推進する所存です。

(法人本部)

①資金収支計算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

収入の部 (単位:円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,382,788,000	3,380,897,142	1,890,858
手数料収入	32,173,000	30,979,720	1,193,280
寄付金収入	700,000	1,150,000	△ 450,000
補助金収入	389,765,000	398,867,029	△ 9,102,029
国庫補助金収入	348,804,000	359,609,000	△ 10,805,000
地方公共団体補助金収入	40,961,000	39,258,029	1,702,971
資産運用収入	69,795,000	74,404,172	△ 4,609,172
資産売却収入	800,000,000	900,160,164	△ 100,160,164
事業収入	260,730,000	261,229,910	△ 499,910
雑収入	42,007,000	47,815,124	△ 5,808,124
前受金収入	1,495,017,000	1,551,235,128	△ 56,218,128
その他の収入	175,433,000	191,687,283	△ 16,254,283
資金収入調整勘定	△1,690,442,000	△1,713,049,293	22,607,293
前年度繰越支払資金	4,437,806,000	4,437,806,701	△ 701
収入の部合計	9,395,772,000	9,563,183,080	△ 167,411,080

支出の部 (単位:円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,938,685,000	1,924,448,812	14,236,188
教育研究経費支出	1,138,314,000	1,090,539,137	47,774,863
管理経費支出	634,280,000	616,017,060	18,262,940
借入金等利息支出	15,083,000	15,080,730	2,270
借入金等返済支出	101,472,000	101,470,000	2,000
施設関係支出	10,456,000	15,756,800	△ 5,300,800
設備関係支出	96,787,000	93,319,807	3,467,193
資産運用支出	879,624,000	889,271,723	△ 9,647,723
その他の支出	552,899,000	568,511,004	△ 15,612,004
資金支出調整勘定	△ 489,996,000	△ 435,848,060	△ 54,147,940
次年度繰越支払資金	4,518,168,000	4,684,616,067	△ 166,448,067
支出の部合計	9,395,772,000	9,563,183,080	△ 167,411,080

②消費収支計算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

消費収入の部 (単位:円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,382,788,000	3,380,897,142	1,890,858
手数料	32,173,000	30,979,720	1,193,280
寄付金	3,347,000	4,192,901	△ 845,901
補助金	389,765,000	398,867,029	△ 9,102,029
国庫補助金	348,804,000	359,609,000	△ 10,805,000
地方公共団体補助金	40,961,000	39,258,029	1,702,971
資産運用収入	69,795,000	74,404,172	△ 4,609,172
資産売却差額	76,740,000	76,740,000	0
事業収入	260,730,000	261,229,910	△ 499,910
雑収入	51,088,000	57,746,073	△ 6,658,073
帰属収入合計	4,266,426,000	4,285,056,947	△ 18,630,947
基本金組入額合計	△ 148,886,000	△ 189,936,259	41,050,259
消費収入の部合計	4,117,540,000	4,095,120,688	22,419,312

消費支出の部 (単位:円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,988,442,000	1,978,484,845	9,957,155
教育研究経費	1,391,260,000	1,344,740,845	46,519,155
管理経費	675,631,000	657,361,081	18,269,919
借入金等利息	15,083,000	15,080,730	2,270
資産処分差額	4,866,000	3,186,179	1,679,821
徴収不能引当金繰入額等	29,811,000	25,948,000	3,863,000
消費支出の部合計	4,105,093,000	4,024,801,680	80,291,320
当年度消費収入超過額	12,447,000	70,319,008	
前年度繰越消費収入超過額	884,809,000	884,809,844	
基本金取崩額	0	3,207,054	
翌年度繰越消費収入超過額	897,256,000	958,335,906	

③貸借対照表 平成27年3月31日

資産の部 (単位:円)			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	10,121,402,084	10,297,414,351	△ 176,012,267
有形固定資産	7,088,537,996	7,259,366,049	△ 170,828,053
土 地	1,725,516,149	1,725,516,149	0
建 物	4,537,889,015	4,692,996,815	△ 155,107,800
構 築 物	52,428,751	63,794,802	△ 11,366,051
教育研究用機器備品	304,094,774	306,049,208	△ 1,954,434
その他の機器備品	34,412,824	41,557,270	△ 7,144,446
図 書	431,616,875	424,594,356	7,022,519
車 輛	2,579,608	4,857,449	△ 2,277,841
その他の固定資産	3,032,864,088	3,038,048,302	△ 5,184,214
教育研究用ソフトウェア	27,684,330	42,575,805	△ 14,891,475
その他のソフトウェア	3,513,676	4,574,849	△ 1,061,173
有 価 証 券	2,241,340,000	2,264,600,000	△ 23,260,000
その他の固定資産	760,326,082	726,297,648	34,028,434
流動資産	4,874,243,880	4,624,112,799	250,131,081
現金預金	4,684,616,067	4,437,806,701	246,809,366
未収入金	106,369,712	102,742,599	3,627,113
その他の流動資産	83,258,101	83,563,499	△ 305,398
資産の部合計	14,995,645,964	14,921,527,150	74,118,814

負債の部 (単位:円)			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,018,761,297	1,085,300,741	△ 66,539,444
長期借入金	820,740,000	922,210,000	△ 101,470,000
退職給与引当金	162,094,014	117,988,930	44,105,084
長期未払金	35,927,283	45,101,811	△ 9,174,528
流動負債	2,083,338,971	2,202,935,980	△ 119,597,009
短期借入金	101,470,000	101,470,000	0
未払金	390,260,837	486,912,630	△ 96,651,793
前受金	1,551,235,128	1,581,368,401	△ 30,133,273
預り金	40,373,006	33,184,949	7,188,057
負債の部合計	3,102,100,268	3,288,236,721	△ 186,136,453

基本金の部 (単位:円)			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	10,624,209,790	10,437,480,585	186,729,205
第4号基本金	311,000,000	311,000,000	0
基本金の部合計	10,935,209,790	10,748,480,585	186,729,205

消費収支差額の部 (単位:円)			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	958,335,906	884,809,844	73,526,062
消費収支差額の部合計	958,335,906	884,809,844	73,526,062
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	14,995,645,964	14,921,527,150	74,118,814

ななかまど 編集隊 vol.63

編集隊は
食べることが大好き

こんにちは、こっしーです！今回はそんなこんなアンケートの「得意な料理」について edc タワーカフェレストランでわいわい話してみました。

参加メンバー



林美波（4年）
p.03,20,21,27



堀越麻希（3年）
p.09,32



山浦征人（3年）
p.8,12,13,22,23



越前沙理（3年）
p.04,05,18,



上野園佳（3年）
p.01,16,17



中村愛理（3年）
p.06,07,24



荒木満里恵（3年）
編集隊応援隊

今回参加
できなかった
メンバー

鹿野英恵（3年）
p.14,15,19,28



堀越「今回は、こんなそんなアンケートの得意な料理について話しましょう！きっと皆さん、女子力が高いと思うので…（笑）」
林「え、得意な料理！？得意な料理は、、、」

堀越「TKG？」
林「あれ得意な料理に数えていいの！？（驚）」
山浦「隠し味は？」
林「私はプロですから、しょうゆと卵オンリーだからさ、Simple is the best だから」
中村「たべた—————っ！！！」
上野「納豆とおにぎりですよ」
林「それは卵入りな納豆ごはんじゃなにか！？」
一同爆笑
上野「お味噌汁が得意かな。」
林「こだわりの味噌汁だけ？」
上野「カツオだしから・・・」
全員「え？だしからとるの？」
上「水張って昆布を30分入れるだけで大丈夫だから。。。」
山「職人だよ。具は何入れるの？」
上「基本、家にあるものだけど、豆腐と油揚げ、にら、ねぎ、大根とかかな」
林「今度、おいしい味噌汁の作り方の企画ページ作りたいね～～」
全員「いいですね～～！！！」

話戻りまして、、、

堀越「私はこの前、ほうれん草とベーコンのクリームパスタ作りました。」
山浦「最近作ったのは、にら玉です」
堀越・林「にら玉いい～～」
荒木「私はパン作れるよ！捏ねるのが

いいの！」
中村「得意ではないけど、最近がんばって作ってるのはオムライスかな」
越前「得意な料理は、私もオムライスなんだよね」
堀越「じゃあ、愛理ちゃんとどっちがおいしいオムライス作れるか勝負するの！？」
越前・中村「ええっ！？」
山浦「オムライスのたまごは、半熟・完熟！？どっちがいい？」
中村「気分によって変える。」
上野「たまご何個使うの？」
中村「卵はね～2個かな～半熟なら2個は必要だわ」
林「え、私3個は使うんだけど。すごいふわふわって感じで！卵1週間に1パックは買うから必死に消費するんだよね。昨日もカレーの付け合せに、ゆで卵2個食べたよ。」
全員「ほ～～～」



ななかまど編集隊は、このように食べ物が大好きです。林さんは卵がとても大好きらしいです。そして、新入隊員が入ってほしいなど、ずっと思っています。これを読んで、ななかまど編集隊のことが気になった方は、下記に詳細を記載していますので、お気軽に連絡ください。

● 編集隊募集中 ●

現在、ななかまどと一緒に編集してくれる方を募集しております。興味があったり、やる気がある方なら学年を問いません。編集隊は本当に一緒に編集してくれる方を募集しているので、ぜひ一緒にななかまどを作りましょう！

気になった方、参加したい方は情報メディア学部・川上研究室（228）までお越し下さい。

一緒に
編集しよ♡

